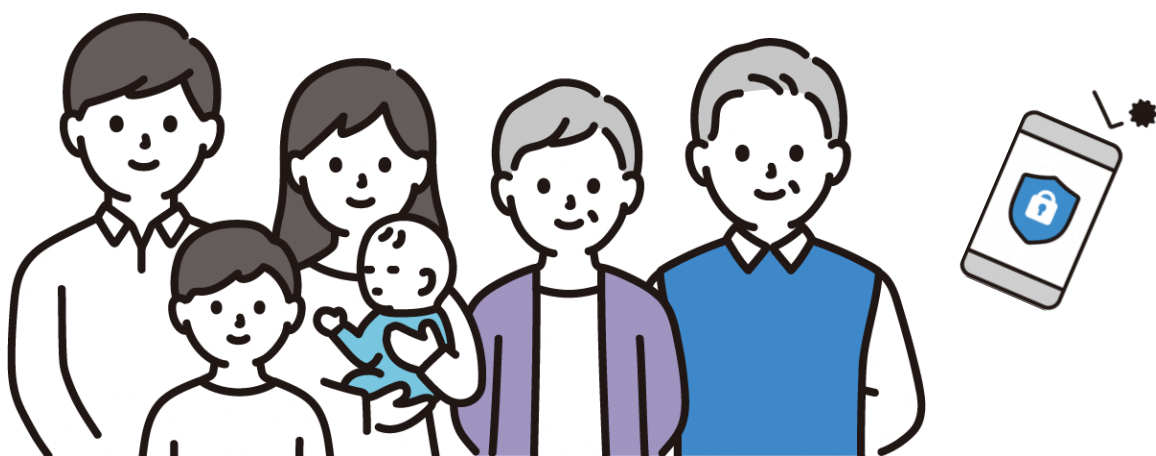


インターネット・SNSトラブルから お子さまを守るために

「**自分の子どもは大丈夫！**」

「**いいえ**」誰にでも起こりうるものです



情報を正しく見極め活用する力を身につけるために保護者ができること

インターネットの
危険性を
知る

安全に賢く
使う力を
育てる

安全な
利用環境を
整える

トラブルを未然に防ぐために、ご家庭でお子様と一緒に考え、
よりよい使い方を話し合いましょう

インターネットの危険性を 知る

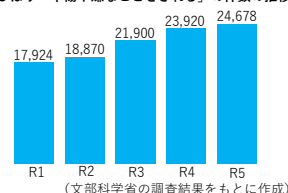
どのようなトラブルに遭うおそれがあるかご存じですか？

インターネットやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）は、世界とつながることができ、様々なことを知ることができます。大変便利なものですが、良い面だけではなく、利用の仕方によっては、危険性があります。実際にこんなことが起こっています。

ネットいじめ

- 仲間外し・・・ インターネット上のグループから意図的に仲間外れにすること
- 拡散・・・ 個人情報や知られたくない情報をインターネット上に公開し、拡散すること
- 中傷行為・・・ 悪口をインターネット上で広げること
- なりすまし・・・ SNSで第三者になりすましたアカウントで投稿すること

いじめの態様のうち「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる」の件数の推移



インターネット上のいじめは増加傾向にあります。ネット上のいじめに対する理解を深めるとともに、情報モラルに関する意識啓発が求められます。インターネットやSNSを介したいじめを受けたときは、スクリーンショットなどで証拠を残すことも大切です。

知らない人との出会い

ゲームサイトの機能を利用して仲良くなった人が、会いたいというので会ってしまった

性暴力をふるったり、お金を脅し取ったりする悪い大人もいます。インターネット上で知り合った人と実際に会うことの危険性をしっかりと伝えましょう。

自撮り被害

交際相手等から下着姿の写真を送ってほしいと言われたので、信頼を裏切らないために、自撮り画像を送信した

交際相手などに、下着姿や裸の写真の送信を求めたり、そのような画像をスマホに保存したりした場合、児童ポルノ禁止法違反（製造、提供など）となります。正しい知識を教える必要があります。

不適切な投稿

ちょっとしたノリで、面白くてウケると考え、悪ふざけをしている画像をSNSに投稿した



内容によっては、犯罪になる場合もあるという認識を持たせましょう。何が不適切となるのかを理解させましょう。

闇バイトへの勧誘

楽に稼げると思い、SNSで応募したところ、秘匿性の高いアプリに誘導され、個人情報を渡してしまった・・・



巧妙な方法で凶悪な犯罪に加担させる行為が横行しています。バイトではなく「犯罪」であり、必ず逮捕され厳しく処罰されます。すぐに警察に相談することが大切です。

誤解によるトラブル

コミュニケーションアプリを使ってトークをしていたが、誤解が生まれ、トラブルに発展した

SNSでは、顔の見えない文字だけのやりとりが中心となります。相手の気持ちを想像したやりとりが必要であることを教えましょう。



架空請求

動画を見ていたら、怪しいサイトにつながってしまい、「10万円を3日以内に振り込んでください」と請求された

フィルタリングや機能制限等で、不審なサイトを閲覧できないようにし、不安なときは、大人に相談するよう伝えましょう。



子どもたちが、どのようにインターネットを使っているか、誰とつながっているかは、大人からは見えにくく、介入することも困難です。大人が気づいたときには、深刻化していることも少なくありません。

- ☆ 被害者や加害者にならないために、具体的にどんなことが起こるのか一緒に考えましょう
- ☆ 日頃から、相談し合える親子関係を保ちましょう



子どもたちが、安全かつ適切に活用する力を身につけていくために大切なのは、子どもたちに「安全に使いたい」という気持ちを育てていくことが出発点となります。

「日常のモラル」と「情報社会の特性の理解」をあわせて育むことが大切です

インターネットの特性

- 世界中に公開されている（誰が見るかわからない）
- 情報がずっと残る（一度発信した情報は、完全に消すことは難しい）
- 匿名性はない（個人が特定されないとは言いきれない）
- 正しい情報だけではない（間違いや、時には悪意のある情報もある）

心理的・身体的特性

- 相手と対面しないので、誤解が生じやすい
- 不安になったり、感情的になったりしやすい

機器やサービスの特性

- 夢中になり、やめられなくなりやすい
- サービスの提供側から様々な勧誘がある

- 相手を思いやる
- 礼儀
- ルール(法律)を守る
- 責任を持つ
- 我慢する気持ち

等

日常のモラル

インターネット等を正しく安全に使わせるために

家庭でルールをつくりましょう！

ルールづくりのポイント

- その1 ルールがトラブルから自分の心と体と命を守ってくれることを伝えましょう
- その2 保護者が一方的に押しつけるのではなく、子どもと話し合って一緒に決めましょう
- その3 ルールが守られているか、確認しましょう
- その4 こどもの成長に合わせてルールを見直しましょう

家庭のルールの例

【保護者の項目】

- ☐ スマートフォン等のフィルタリングを行います
- ☐ 使用料金は、適切に設定します



【子どもの項目】

- ☐ 名前や顔写真、学校名など個人情報は公開しません
- ☐ 見た人が嫌な気持ちになるような言葉は使いません
- ☐ SNSなどで他人を傷つける行為はしません
- ☐ 利用する場所や時間を決めます
- ☐ パスワードは保護者が管理します
- ☐ ネットで知り合った人とは絶対に会いません
- ☐ 課金アイテムや有料アプリは保護者の承諾を得て購入します
- ☐ いじめやトラブル等、困ったことが起きたらすぐに保護者や先生、友だちなどに相談します

こどもの成長に合わせたルール・環境づくり ペアレンタルコントロールからセルフコントロールへ

発達段階に応じて、フィルタリングを含む
ペアレンタルコントロール機能をうまく活用
することが大切です。



こどもの成長に合わせて、
ルールの見直し・更新を
しましょう。

こどもの成長

自律期

・道徳心
・判断力

他律期

・ルール
・安全設定

保護者の見守り

トラブルに巻き込まれないために フィルタリング設定



《フィルタリングの効果》

- 不適切サイト（犯罪やアダルトサイト等）をブロック！
- 有料アプリや課金アプリなどの購入を管理！
- 利用時間やゲームのプレイ時間を調整！
- 利用状況のチェック！

子どもの年齢や使い方により、レベル設定ができ、利用したいサイト、
SNS、アプリ等の個別設定もできます。



S N S に起因する事犯の被害児童の
フィルタリング利用状況

利用していない	860人
利用している	102人

利用なし
89%

(R7.3月警察庁発表資料をもとに作成)

- ゲームや携帯音楽プレーヤーなどにも忘れずに導入しましょう。
- 「フィルタリングは不便なもの」ではなく、危険から身を守るもの。安易に解除しないようお願いします。

相談窓口・参考サイト 困ったときはご相談ください

- ◆ 犯罪や性被害等のご相談は けいさつ相談室 #9110、性犯罪被害相談電話（警察） #8103（ハートさん）
- ◆ SNS いじめなどのご相談は 新潟県いじめ相談電話 0120-0-78310 または 025-285-1212
- ◆ インターネットをめぐる消費者トラブルのご相談は 消費者庁消費者ホットライン 188
- ◆ インターネットをめぐる人権に関するご相談は 子どもの人権110番（法務局・地方法務局）0120-007-110

○情報モラル教育ポータルサイト
（文部科学省）



○保護者のための情報モラル教室
話し合っていますか？ 家庭のルール
（文部科学省）



○青少年の安全で安心な
社会環境の整備
（こども家庭庁）



○子どもとネットのトリセツ
（安心ネットづくり促進協議会）

